

はじめに

我々人類は今、新たなる世紀を迎えようとしています。

20世紀において、人類はその歴史の中でこれまでになく科学技術を発展させ、先進国では豊かな物質文明を築き上げ、開発途上国では貧困からの脱出を成し遂げつつあります。

一方、これらは同時に先進国での大量生産・消費・廃棄の文化を生み出し、開発途上国では人口爆発という問題を引き起こし、化石燃料・水・鉱物資源等の地球資源の枯渇、さらにはオゾン層破壊、地球温暖化、有害化学物質の拡散といった地球環境の破壊を引き起こしつつあります。

今、人類の活動は地球の持つ自己循環再生能力の限界を越えたものとなろうとしています。

かけがえのない地球資源・環境を次世代へ継承するために、新しい世紀では持続可能な発展すなわち循環型の社会の実現が必要とされます。我々人類は地球環境あってのものだということを忘れてはなりません。

当社は早くから地球環境の保全が社会の最重要課題の一つであると認識し、企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮し、行動してまいりました。

1974年環境管理室を設置、1999年に安全環境衛生推進部へと体制を強化、この間、1993年には「地球環境保全に関する基本的な考え」(環境保全に関するボランティアプラン)を、1998年には環境基本方針を策定し、環境にやさしい物づくりを目指し、オゾン層破壊物質使用全廃、省エネルギー・地球温暖化防止、産廃削減・リサイクルの推進、環境関連技術及び環境調和製品開発の推進などに取り組んできました。

今後は更に全事業所におけるISO14001認証取得、有機塩素系化合物の使用全廃、環境調和製品の拡大など積極的に活動してまいります。

ここに1999年度を中心とした当社の環境保全活動を報告書としてまとめました。

皆様方よりのご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 古河 潤之助